

特集「人権・多様性社会」について考える その11

アンコンシャス・バイアスは無意識の偏見

アンコンシャス・バイアスという言葉を知ったことがあるでしょうか。アンコンシャス・バイアスとは自分の経験や育った環境などにより気づかないうちに持つようになった見方や考え方により無意識に持つようになった偏った見方のことで、

「きめつけたり」「押し付けたり」することです。

例えば、「会社での受付やお茶出しは女性の仕事」「家事や育児は女性が行うもの」「学校の制服は、男の子はズボン、女の子はスカート」「男の子は強くなくてはいけない」などがあります。

気づきは真の多様性への第一歩

アンコンシャス・バイアスをなくすことは難しいかもしれませんが、自分自身の思い込みや偏見に気づき正しい意識を身につけることが大切です。そのことが、真の多様性への第一歩です。

「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部いれこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。